

# カンキツかいよう病の銅剤混用防除の検討

カンキツかいよう病の防除には銅剤が主に散布されている。pHが中性に近く混用散布が可能とされる銅剤の殺菌剤混用時の防除効果と銅の薬害に及ぼす影響を調査した。また、パラフィン系展着剤と炭酸カルシウム剤の加用による銅の薬害低減効果を検討した。



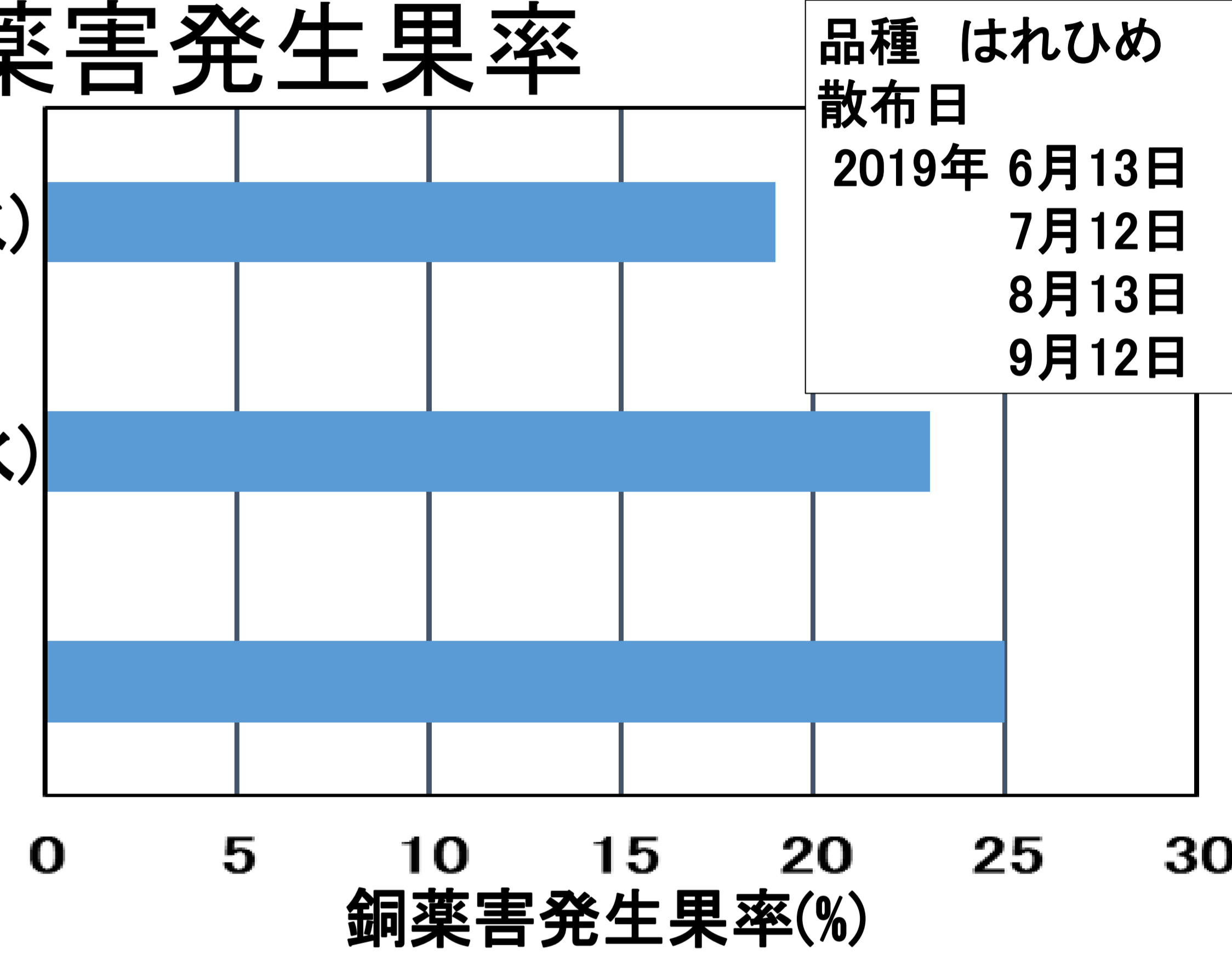
かいよう病



銅剤の薬害(スターメラノーズ)

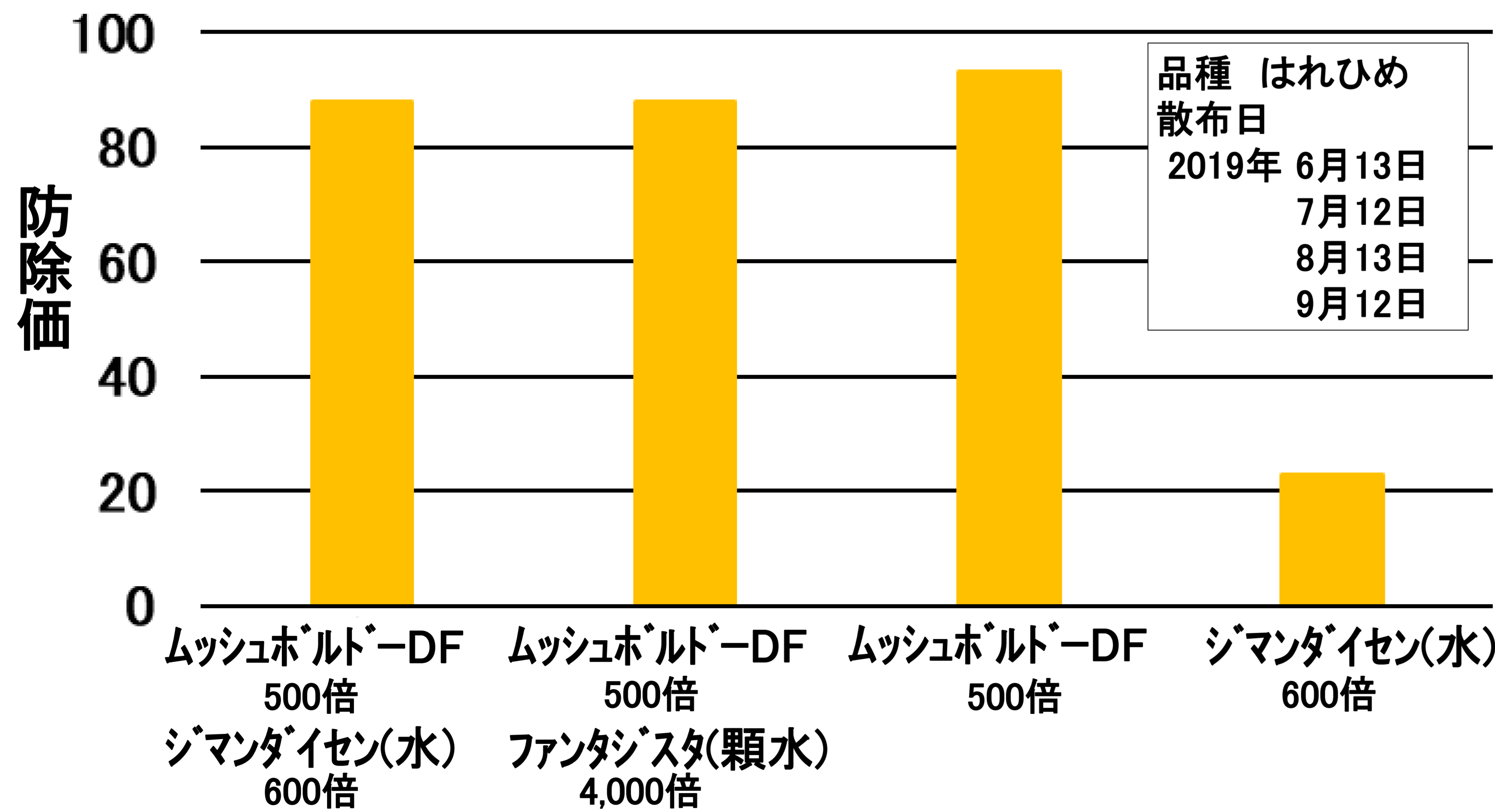
## ○殺菌剤混用時の銅薬害発生果率

ムッシュホルド<sup>®</sup>-DF+ ジマンダイセン(水) 500倍 600倍  
 ムッシュホルド<sup>®</sup>-DF+ファンタジスタ(顆水) 500倍 4,000倍  
 ムッシュホルド<sup>®</sup>-DF 500倍



品種 はれひめ  
 散布日  
 2019年 6月13日  
 7月12日  
 8月13日  
 9月12日

## ○殺菌剤混用散布でのかいよう病の防除効果(果実)



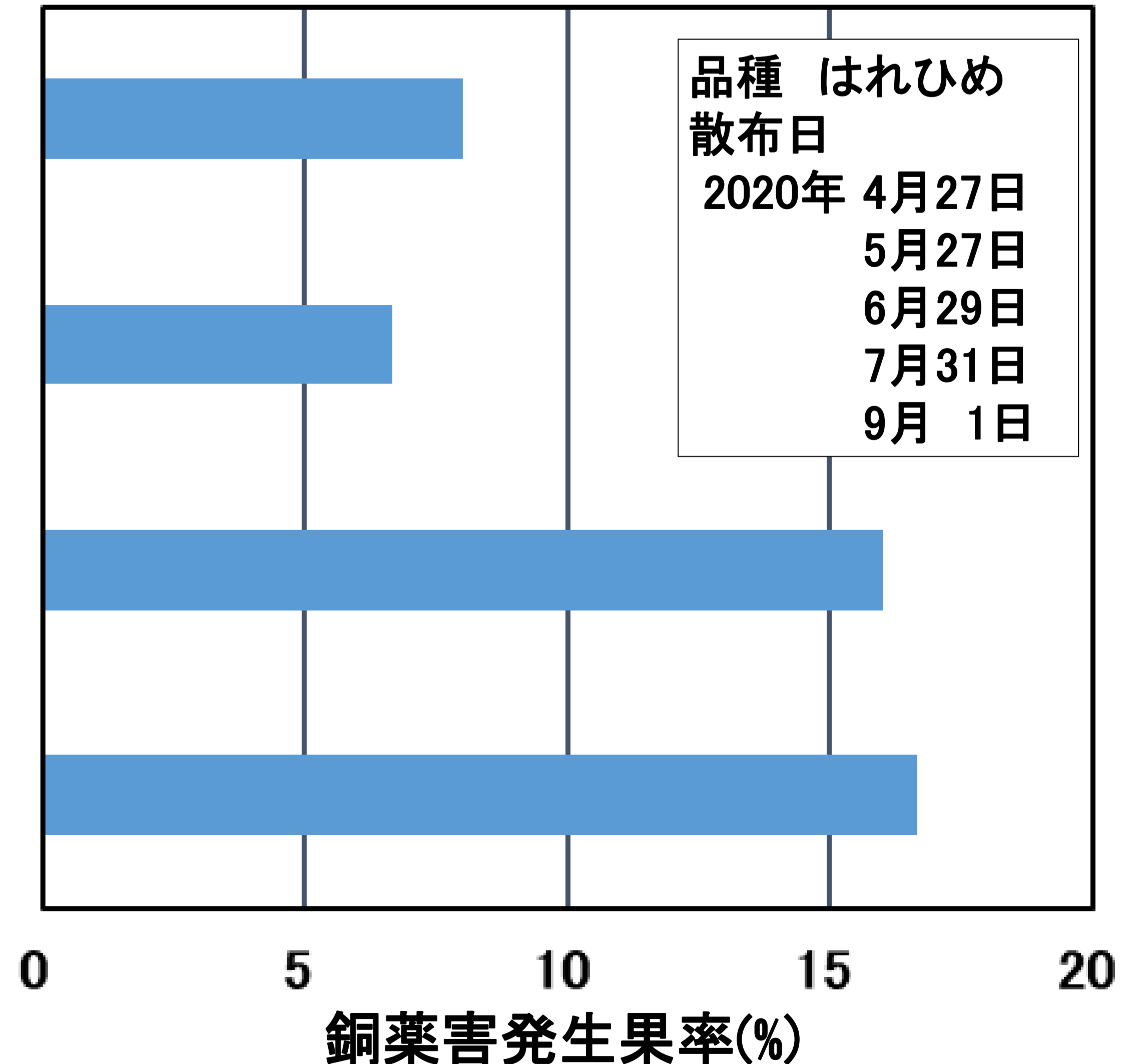
品種 はれひめ  
 散布日  
 2019年 6月13日  
 7月12日  
 8月13日  
 9月12日

※防除価 = 100 - (処理区の発病 / 無処理区の発病) × 100

殺菌剤と混用散布しても、かいよう病の防除効果や薬害の発生は単剤散布と同程度

## ○展着剤、炭酸カルシウム剤の薬害低減効果

ICボルドー66D+アビオンE+アプロン 80倍 1,000倍 200倍  
 ICボルドー66D+ +アプロン 80倍 200倍  
 ICボルドー66D+アビオンE 80倍 1,000倍  
 ICボルドー66D 80倍



品種 はれひめ  
 散布日  
 2020年 4月27日  
 5月27日  
 6月29日  
 7月31日  
 9月1日

※4月27日の散布時は石灰の薬害軽減のため全区にアビオンを加用

銅の薬害低減にはパラフィン系展着剤ではなく炭酸カルシウム剤の加用が必要